

13:00～15:10 事例報告(一部公募)

1. 「退院調整から在宅医療へ」

当薬局が関わった在宅中心静脈栄養療法(HPN)症例
(有)メディックス白石 けや木薬局代表取締役 白石丈也

2. 「多職種連携における薬剤師の役割」

蔵の街コミュニティーケア研究会の活動を通して
(株)メディカルグリーン代表取締役社長 大澤光司

3. 「在宅業務と薬局コーディネーターによる多職種連携」

(有)サンメディカル あげぼの薬局代表取締役 木村雅彦

4. 「緩和ケア(仮想)地域連携クリティカルパスの中で

患者アウトカム志向で考える保険薬局の介入責任」

(株)レーベンプラン レモン薬局三方原店

在宅・緩和医療室室長 前堀直美

5. 「訪問看護ステーションの現状と保健薬局に期待するところ」

(有)ナースケア取締役 ケアマネージャー 菅原由美

15:10～16:00 パネルディスカッション(一部公募)

特別発言 厚生労働省(予定)

16:00 閉会

〈募集要項〉

○会費 5,000円(但し、非学会員10,000円)

○定員 180名

(定員を満了次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい)

○受付期間 2009年9月24日(木)～10月23日(金)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

○事例報告ならびにパネルディスカッションの演者を募集します。希望者は所属・氏名・演題名および抄録(600字程度)をE-mailにて日本医療マネジメント学会事務局宛(jhm@space.ocn.ne.jp)に送信下さい。採否は一任下さい。なお、演者は学会員である必要があります(締切2009年10月23日(金)必着)。

2009年度第2回クリティカルパス実践セミナーin滋賀

・日時 2010年2月13日(土)、14日(日)

・会場 大津赤十字病院 地域医療研修センター小講堂
(〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1-35)

詳細につきましては次号ニュースレター、ホームページでご案内致します。

支部学術集会開催案内

—第8回九州・山口連合大会—

会長 飯塚病院院長 田中二郎

・テーマ 明るい病院改革

～パラダイムシフトの時代の中で～

・日時 2009年9月22日(火・休)・23日(水・祝)

・会場 福岡国際会議場

(福岡市博多区石城町2-1 TEL 092-262-4700)

・プログラム

・基調講演 「地域の医療提供を考える

—地域連携とクリティカルパスの貢献—

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

・特別講演 「患者は日本文化～文化財修復の技と心の伝承」

京都国立博物館内文化財保存修理所

株式会社松鶴堂代表取締役社長 鈴木 裕

・教育講演1 「医療安全全国共同行動がめざすもの」

東北大学大学院医学系研究科 国際保健学分野教授 上原鳴夫

・教育講演2 「ヒューマンファクター工学の観点から

見た医療システムの問題点と対策」

自治医科大学医学部医療安全学講座教授 河野龍太郎

・教育講演3 「これからの看護のあり方」

東京医療保健大学看護学科長 坂本すが

・シンポジウム

1. 医療は誰のもの～患者のための医療にするために、今
できることすべきこと～ ※県民公開シンポジウム

座長 九州厚生年金病院 副院長 瀬瀬 顯

演者 おのむら医院 院長 小野村健太郎

国立病院機構長崎川棚医療センター院長 宮下光世

NPO法人患者の権利オンブズマン理事/

九州合同法律事務所 弁護士 久保井 撰

飯塚病院医療安全推進室室長代理 井上文江

2. 看護師の新人教育はどうあるべきか

座長 福岡県看護協会会長/

浜の町病院副院長兼看護部長 神坂登世子

演者 九州大学病院 医療安全管理部

セーフティマネージャー 秋好美代子

国立病院機構九州医療センター教育担当師長 石原尚美

福岡県立大学看護学部 教授 安酸史子

飯塚病院 副看護部長 樋口圭子

3. 日本の医療を多角的視点から考える

座長 国立病院機構九州医療センター名誉院長 朔 元則

演者 国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野教授 高橋 泰

市立貝塚病院 総長 小川道雄

株式会社麻生 代表取締役社長 麻生 泰

4. より良いチーム医療を目指して

～職種間の円滑なコミュニケーションを図るには～

座長 東京海上日動メディカルサービス(株)

メディカルリスクマネジメント室 主席研究員 山内桂子

演者 産業医科大学医療安全管理部 今永たか子

福岡医療福祉大学人間社会福祉学部

臨床医療福祉学科教授 大垣京子

済生会熊本病院薬剤部長 飛野幸子

小倉リハビリテーション病院OT課長 砂川直美

・特別企画 「米国“家庭医療専門医”事情の現況」

Director, Integrated Residency Program

Department of Family Medicine, UPMC

James C. Dewar, M.D.

・ランチョンセミナー

1. インフルエンザ—新型インフルエンザ(豚由来H1N1)、鳥インフルエンザ(H5N1)、スペインインフルエンザ等の病態と対策—

国立国際医療センター国際疾病センター長 工藤宏一郎

(次頁へ)